

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 運命決定の“ゆらぎ”を応用した新たな器官再生モデルの開発
2. 研究代表者： 吉崎 恵悟（九州大学 大学院歯学研究院 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、研究代表者が上皮-間葉相互作用により発生する器官の発生初期に共通に発現する遺伝子群に着目して発見した、器官運命転換を可能とする“ゆらぎ”因子を用いて、器官発生メカニズムを解明することに挑戦し、新しい器官再生技術の開発を目指す。フェーズ1では、上皮細胞の解析を着実に進め、確かな実績を積み上げた。フェーズ2では、フェーズ1に解明を進めた器官運命転換の機序を中心に、器官運命転換の全体像を明らかにする計画で、今後の計画が具体的であり、確実な成果が期待できる。さらに、新たな器官再生技術の構築への展開により、破壊的イノベーションに繋がる成果が生まれる可能性に期待する。

以上